

横浜市自治会町内会・地区連合町内会 アンケート調査結果概要版

横浜市では、自治会町内会及び地区連合町内会の活動状況を把握するとともに、今後の地域活動に対する本市の事業の参考資料とするため、アンケート調査を実施しました。

調査は、横浜市町内会連合会の協力を得て、横浜市内の全自治会町内会2,868団体、全地区連合町内会249団体の計3,117団体を対象に、平成20年11月から12月にかけて実施し、90.7%にあたる2,827団体からの回答をいただきました。

調査結果につきましては、報告書、概要版にまとめて、配布させていただくとともにホームページにも掲載いたします。自治会町内会・地区連合町内会の皆さまにも、今後の活動のご参考にしていただければ幸いです。

※吹き出しのコメントは、前回調査（5年前調査）との比較です。

自治会町内会の概要

◆会長の属性～男性が中心で、かつ高齢化している会長職

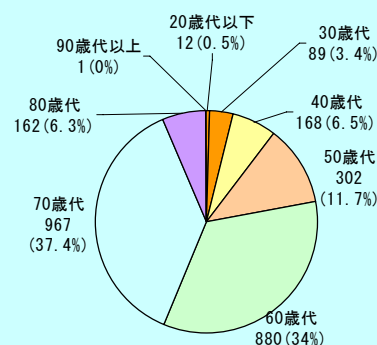
【性別】

(1) 男性：88.4% (2) 女性：11.1%

【年齢】

(1) 70代：37.4% (2) 60代：34.0%
(3) 50代：11.7% (4) 40代：6.5%
(5) 80代：6.3% (6) 30代：3.4%
(7) 20代以下：0.5%

女性会長は前回(9.6%)より若干上昇



◆会長の活動概要～月4日以上 の 従事日数、全体的には在職期間の短い会長職

【月間活動従事日数】

(1) 4～7日：31.5% (2) 8～14日：23.4% (3) 15～21日：19.1%
(4) 3日以内：17.1% (5) 22日以上：4.9%

【在職年数】

(1) 2年未満：36.2% (2) 2～3年：21.8% (3) 6～10年：15.2%
(4) 4～5年：11.9% (5) 11～20年：9.9% (6) 21～30年：2.9%
(7) 31年以上：0.8%

在職3年までが前回(53.8%)から約4%増

◆実施している活動・事業～情報伝達活動が最上位、防火防災活動等が続く

(1) 掲示板管理：95.7% (1) 広報の配布：95.7% (3) 回覧板：95.1%
(4) 防火防災活動：91.3% (5) G30行動(ごみの減量再資源化)：86.6%
(6) 防犯灯の維持管理：86.4% (7) 防犯活動：84.9%
(8) 清掃等街の美化：84.5% (9) 盆踊り・お祭り：80.6%
(10) 敬老会：76.0%

◆運営上の課題～高齢化をはじめ、人材の確保等に関わる課題が上位を占めている

(1) 役員のなり手が少ない：76.2% (2) 役員の高齢化：59.4%
(3) 会員の高齢化：58.8% (4) 役員の負担が重い：54.8%
(5) 特定の会員しか関わらない：48.5%

課題意識は前回とほぼ同様

◆加入促進に向けた行政の支援策で有効と考えるもの

(1) 転入者への活動の周知：61.5% (2) 転入者への連絡先提供：44.5%
(3) 不動産業界団体への協力要請：41.6% (4) 地域住民への活動の周知：35.3%
(5) マンション建設情報の提供：17.9%

◆会館の有無等～会館所有が過半数を占め、利用日数は月10日以内が半数

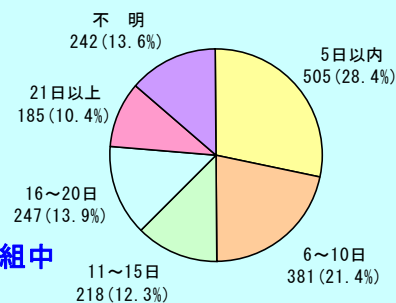
【会館（建物）の有無】

- (1) あり（所有）：51.8%
- (2) あり（借用）：16.9%
- (3) なし：30.0%

会館のある団体は前回（67.7%）と同様

【会館利用日数】

- (1) 5日以内：28.4%
- (2) 6～10日：21.4%
- (3) 16～20日：13.9%
- (4) 11～15日：12.3%
- (5) 21日以上：10.4%



◆「身近な地域・元気づくりモデル事業」～半数以上が関心あり又は取組中

- (1) 関心がある：29.9%
- (2) あまり関心がない：21.3%
- (3) 必要がない：11.7%
- (4) 同様な事業に取り組んでいる：11.4%
- (5) 取り組んでみたい：9.1%

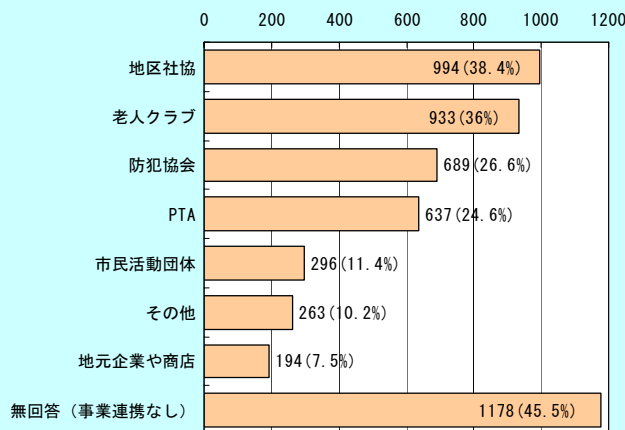
◆他団体との連携～自治会町内会の49.2%の定例会等に他団体が参加している

【他団体の定例会・役員会への参加の有無】

- (1) 参加している：49.2%
- (2) 参加していない：44.6%
- (3) 不明：6.2%

【連携して事業をしている団体】

- (1) 地区社協：38.4%
- (2) 老人クラブ：36.0%
- (3) 防犯協会：26.6%
- (4) PTA：24.6%
- (5) 市民活動団体：11.4%
- (6) 地元企業や商店：7.5%



地区連合町内会の概要

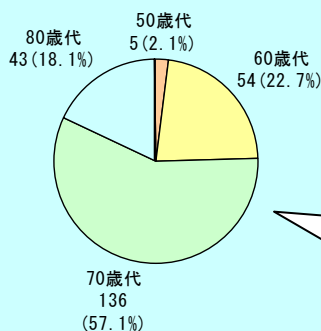
◆会長の属性～地区連合町内会は男性に特化し、かつ高齢化も顕著な会長職

【性別】

- (1) 男性：97.1%
- (2) 女性：2.5%

【年齢】

- (1) 70代：57.1%
- (2) 60代：22.7%
- (3) 80代：18.1%
- (4) 50代：2.1%



80代以上が前回（8.1%）より大幅増

◆会長の活動概要～自治会町内会より長い従事日数と長い在職期間の会長職

【月間活動従事日数】

- (1) 15～21日：48.7%
- (2) 8～14日：23.5%
- (3) 22日以上：11.8%
- (4) 4～7日：11.3%
- (5) 3日以内：1.7%

【在職年数】

- (1) 4～5年：21.4%
- (2) 2～3年：21.4%
- (3) 11～20年：18.5%
- (4) 6～10年：16.0%
- (5) 2年未満：14.3%
- (6) 21～30年：5.0%
- (7) 31年以上：2.5%

◆実施している活動・事業～防火防災・防犯の活動及び環境活動が上位を占める

- (1) 防火防災活動：90.3%
- (1) 防犯活動：90.3%
- (3) G30行動（ごみの減量再資源化）：87.0%
- (4) 青少年活動：83.2%
- (5) 交通安全活動：80.7%
- (6) 老人クラブ：77.3%
- (7) 清掃等街の美化：75.2%
- (8) 各種スポーツ大会：74.8%
- (9) 運動会（健民祭）：74.4%
- (10) 盆踊り・お祭り：73.5%

◆運営上の課題～高齢化をはじめ、役員への負担に関わる課題が上位を占めている

- (1) 役員の高齢化：62.2%
- (2) 行政からの依頼事項が多い：56.3%
- (3) 役員のなり手が少ない：55.0%
- (4) 役員への負担が重い：53.8%
- (5) 会員の高齢化：45.0%

◆加入促進に向けた行政の支援策で有効と考えるもの

- (1) 転入者への活動の周知：78.6%
- (2) 不動産業界団体への協力要請：67.6%
- (3) 転入者への連絡先提供：58.4%
- (4) 地域住民への活動周知：47.9%
- (5) マンション建設情報の提供：39.9%

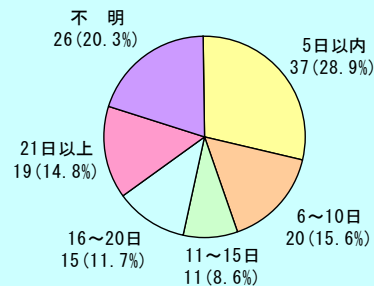
◆会館の有無等～自治会町内会に比べ会館の所有が少ない地区連合町内会

【会館の有無】

- (1) なし：46.2%
- (2) あり（借用）：30.3%
- (3) あり（所有）：23.5%

【利用日数】

- (1) 5日以内：28.9%
- (2) 6～10日：15.6%
- (3) 21日以上：14.8%
- (4) 16～20日：11.7%
- (5) 11～15日：8.6%



◆「身近な地域・元気づくりモデル事業」～会長の関心が自治会町内会長よりさらに顕著

- (1) 関心がある：28.6%
- (2) 同様な事業に取り組んでいる：22.7%
- (3) モデル地区として取り組んでいる：12.6%
- (4) あまり関心がない：11.3%
- (5) 取り組んでみたい：9.2%

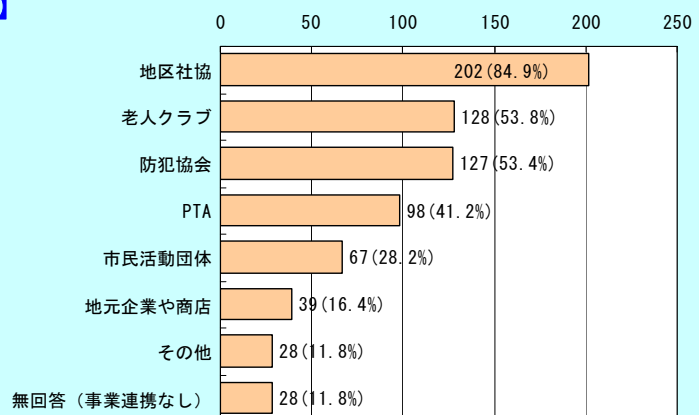
◆他団体との連携～地区連合町内会の82.8%の定例会等に他団体が参加している

【他団体の定例会・役員会への参加の有無】

- (1) 参加している：82.8%
- (2) 参加していない：15.1%
- (3) 不明：2.1%

【連携して事業をしている団体】

- (1) 地区社協：84.9%
- (2) 老人クラブ：53.8%
- (3) 防犯協会：53.4%
- (4) PTA：41.2%
- (5) 市民活動団体：28.2%
- (6) 地元企業や商店：16.4%



自由記述意見の紹介

自由記述意見については、自治会町内会、地区連合町内会から1,186件いただきました。主なご意見を紹介します。

①自治会町内会活動全般に関わる記述

■会長、役員、担い手

- ・ 会長は「超多忙」。私の場合は、「使命感」に支えられている。
- ・ 輪番制で1年任期のため、活動がうまく継続されない部分があり運営に苦慮している。
- ・ 長年ほとんど同じブレーンで運営。いざ後ろを振り向いたら、若手が育っていなかった。幸い今年の祭りからお父さん方がやる気を起こし、今のところ順調に進行中。

■高齢化、少子化

- ・ 高齢化が進む中、自治会活動の運営にその影響が確実にしのび寄ってきています。
- ・ 少子化がますます進み、「子供会」の活動参加者を集めるのに一苦勞です。
- ・ イベントは高齢者が中心。若い人達が関心を持ち、若返りをしなければと思う。

■活動の充実・活性化に向けての課題や対応

- ・ 「向こう三軒両隣」。これが今の自治会・町内会に必要な組織づくりと思います。
- ・ 地域性が強く反映される。地域の特性を重視して活動すべきと思います。
- ・ プライバシー保護のため住民のパーソナリティが分からず、活動の人選に苦慮する。

②行政との係わりに関する記述

■行政の対応全般について

- ・ 縦割りに考えず、連絡しあって事業を進めて欲しい。受け皿は1つです。
- ・ 活動支援について、どんな活動をして誰を対象にどの様な方法でといった内容周知に欠ける。
- ・ 活動によっては周辺自治会あるいは自治会以外の団体と連携したほうがより効率的であるものも少なくない。そうした方向への活動の発展について行政の調整が望ましい。
- ・ 行政の自己満足が自治会の現場でゴった煮となるため、実のある活動につながらない。

■回覧、掲示物の依頼、各種委員等の推薦依頼

- ・ 配布物が多いのもっと簡略化して欲しい。たくさんの配布物は情報の氾濫である。
- ・ 自治会独自の重要情報を回覧しても、他の広報が多いため会員は見逃してしまう。
- ・ 会長の仕事のうちで、市・区への各種委員の推薦が最も困難で精神的負担が大きい。
- ・ 各種委員については、時代も変わり、必要ないものもあるのではないか。

③自治会町内会への加入促進についての記述

- ・ 行政も具体的に支援して欲しい。自治会のみでの対策では不十分な部分がある。
- ・ 自治会町内会の存在を行政はもっとPRして欲しい。
- ・ (マンションの) 管理人、(アパートの) 家主、宅建業者等の協力が必須。



横濱開港150周年

詳しくは「自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書」をご覧ください。

横浜市市民活力推進局地域活動推進課
平成21年6月発行
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
電話 045-671-2317 FAX 045-664-0734
横浜市広報印刷物登録 第210153号
類別・分類 C-DB070